

まちの話題

町の問題を紹介しています。
皆さんの身近な情報をご連絡
ください。

連絡先

企画財政課広報広聴係

電話 25 - 2136

篠田裕子さんが道優良母子 家庭表彰を受賞

北海道善行賞の優良母子家庭表彰に、篠田裕子さん（羽衣町南）が選ばれ、5月23日に、橋場町長より賞状と記念品が伝達され、合わせて町から記念品が贈られました。

優良母子家庭表彰は、仕事と子育てを両立させている母子家庭を表彰するもので、今年は今



道で14人が受賞されています。篠田さんも仕事をしながら子育てにも力を入れ、健康で明るく温かい家庭を築いていることが認められての受賞となりました。

うつくしい環境のまちづくり に向け、みんなで清掃

5月12日と13日の両日、多くの皆さんが参加し、町内の道道や町道の清掃活動が行われました。

12日の午前中は、今年で3回目となる東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議（清里地区代表 大西紀章商工会長）主催による、道道摩周湖斜里線沿道の土砂除去清掃が行われました。同連携会議は、美しい道路景観づくりを通じた地域振興をめざす活動を行っており、当日は花と緑と交流のまちづくり委員会加盟団体はじめ商工会、建設業協会、ロータリークラブ、町職員など約160人が参加し、斜里町との町界から札幌まで約20キロの清掃を行いました。

また、午後からは、まちづくり運動推進協議会（会長 三上政夫さん）と町の共催による「春のごみゼロ運動」が行われ、自治会や女性団体など約160名が参加し、町道4路線で空き缶拾いなどの清掃活動が行われました。さらに13日には、緑自治会（会長 河原健吾さん）による緑地区の道路清掃が行われたほか、清里町ウォーキング同好会（会長 辻 潤さん）による、田園の散歩路「緑清流の谷コース」の標識設置と清掃活動が行われました。



緑が一段と色濃くなり、町のいたるところが花に彩られる多くの方を迎える季節となりますが、美しい環境を喜んでもらえる活動が、様々なところでしっかりと行われています。

札幌清里会が記念の第30 回総会を開催

5月19日、札幌市三川屋会館を会場に札幌清里会（会長 長尾義輝さん）の総会が開催されました。今回は、昭和50年に札幌清里会の前身である「札幌同志会」が発足してから30回目の節目の総会となり、会員参加者が51名と、近年に無く多くの参加者となりました。

総会では、過日ご逝去された故大橋道生前町長に黙祷をささげた後、長尾会長から新会員が31名増えたことや新事業として会報の発行を企画していることなどが報告されました。

清里町からは橋場町長、村尾議長ほか経済産業団体の代表者が出席し、自立のまちづくりに向けた住民協働による取り組みの現況や農業・商工業・観光振興の現状や課題などが説明されました。また、会員の皆さんからは農産物の二次加工による地域振興などについて質問がだされるなど、母町清里町への強い関心をうかがうことができました。



総会に引き続き親睦会が行われ、会員同士や清里町からの来賓との懇親や旧交をあたためるなど、ふるさと清里町への想いをはせる一日となりました。

世代間交流で「子ども農園」づくり

5月23日、子どもたちとボランティアの方々が体験や交流を通じて野菜などの農作物を育てる「子ども農園」が今年も開設されました。

この事業は、社会福祉協議会（会長 塚田 昭さん）が、関係機関や多くのボランティアの皆さんの協力により実施している事業です。

この日参加したのは、清里保育所の園児13人と子育て支援センターを利用する親子13組。ボランティアの皆さんの指導で、じゃがいも「キタアカリ」の種芋を植える作業を行いました。

この他、スイートコーンやかぼちゃなども栽培しながら秋の収穫の時期まで、草取りや花見など世代間の交流を深めるとともに、収穫の喜びや食の大切さを体験を通じて学んでいきます。



清里小の児童が車イスを寄贈

5月14日、清里小学校の児童から社会福祉協議会に車イスが寄贈されました。これは、清里小がJRC（青少年赤十字）活動の一環として行っている空缶缶の「リングブル」回収の成果によるものです。

数年かけて回収したリングブルの量は66kgで、およそドラム缶で6個分のリングブルのリサイクル収益を介護用品の購入に充てているブルネット事務局（江別市）を通じて車イス1台と交換されたものです。

清里小JRC委員会委員長の菊池優介くん（6年生）は、「この成果は多くの皆さんが協力してくれたおかげです。これからもリングブルを回収しますので、ご協力をお願いします。」と話してくれました。



三町合同の消防演習が行われました

5月20日、清里町を当番地に、斜里郡三町の消防団員約17名による合同の春季消防演習が行われました。

合同演習は、斜里郡三町の応援態勢を密にし、万が一の有事の際でも万全の連携がとれるよう、毎年、各町持ち回りで行われています。

途中、雲まじりの雨が降る悪天候のなか、三町から集まった9台のタンク車や2台の積載車など合計18台の消防・救急車両により発煙筒を火点に見立てた市街地での模擬火災訓練が行われました。



ガーデニングバザールで花苗など販売

5月20日、コミットを会場にきよさとガーデニングバザール（花と緑と交流のまちづくり委員会 など主催）が行われました。

会場では、マリーゴールドやサルビアなどの花苗のほか、肥料やプランターなどのガーデニング用品の販売ほか、協賛事業として、清里町農協から牛乳無料配布と長いもの販売が行われました。

7年目を迎えた「花と緑と交流のまちづくり事業」は近隣市町村にも浸透しており、町外からも多くの来場者が集まりました。

